

中学1年 単元名「海を体感し認識を深める②」（8時間）

1 単元設定の理由

ヨット帆走実習を通じ、海洋に関する存在論的な学びを促す。

2 単元目標

- ・ヨット帆走実習を通して海（風や波）を体感し、そこで得られた生徒個々人の体験を生徒間で共有し、海洋に対する多様なとらえ方を学ぶ。
- ・ヨットの仕組みを学ぶことで、海洋で生きるための道具の意味を理解する。
- ・風や波などに関して地学的、物理学的側面から学ぶことで、海洋という自然環境を理解する。
- ・ヨット帆走実習での海洋体験と海洋に関する知識を結びつけ、海洋を多角的な観点から理解する。

3 単元の評価基準

- ・ヨット帆走実習体験については、生徒の作成したレポート作成による自己評価を行なう。
- ・ヨットや海洋に関する知識の理解については、「技術・家庭科」の定期試験のなかで生徒に問う。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
5	海での安全～ヨット帆走時の安全面における心得～	・ヨット帆走時の安全知識を切り口にして「自分の身は自分で守る」というアウトドア・自然活動の基本的な考え方を指導する。
6	海に関する環境問題の視点～主に大洋や海流について～	・環境問題の個々の事例にとらわれないよう地球環境全体に関する考え方を指導する。
7	海洋学特別講義 「深海底から噴き出す温泉をめざして」 (東京大学海洋アライアンス 蒲生俊敬 先生)	・興味をもったこと、わかったこと、質問したいことなどをメモするよう指導する。
8	海洋学特別講義に関するレポート作成	・メモにもとづき、講義から学んだこと、興味をもったことなどを整理したうえで文章化するよう指導する。

外部連携 / 教材等

海洋学特別講義は、講義内容や講師に関して、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの連携のうえで、実施するものである。

3～6については、自主教材プリントを使用